

# 教育会館だより



No. 76

発行日  
2025年4月1日  
発行人  
増田 貴範

【題字】  
館盛 静光  
(元相模原市長)

## 目次

- 1 ページ  
理事長のあいさつ
- 2・3 ページ  
2024年度事業報告
- 4 ページ  
2025年度事業計画

発行 一般財団法人相模原教育会館 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-13 ☎042(758)2190  
<http://www.sagamiharakyouikukaikan.or.jp/>



理事長 増田 貴範

## 学校・家庭・地域のみんで子ども・保護者を支えていく社会の構築をめざして

皆様には日頃より相模原教育会館事業にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。相模原教育会館は、「ふれあい」をキーワードに多くの事業を展開してきました。事情や立場が異なる人も含め、情緒的につながりを形勢し、「次代を担う児童・生徒が、自然・人とのふれあいを通じて、思いやりのある心豊かな人間として育つ」ことをめざしてきました。

さて、2025年3月、相模原市議会において、安心して子育てをすることができる環境の実現にむけて、「相模原市子育て応援条

例」が制定されました。この裏には、コロナ禍以降、生活様式や価値観の多様化、人間関係の希薄化、地域社会のコミュニティの衰退等の影響で、地域・社会から孤立化・孤独化すること等、困難に直面している子どもや子育て世帯への支援が求められていることが背景にあります。さらには、一人一台端末や、スマートフォン等、ICT機器の普及等により、普段の遊びの中からも体験活動が失われています。とりわけ、子どもたちにとって、実体験から得られる学びや感動は、健やかな成長のためには必要不可欠であり、そのような機会を保障することは、大人の責務です。

このような状況だからこそ、学校・家庭・地域がより連携を深めるとともに、子どもや保護者を孤立させることがないよう社会全体で子どもを育てることが求められているのではないのでしょうか。そうした観点からも、相模原教育会館の設立目的である県央・県北地

域の教育・文化の振興と教職員 の教養、福利厚生 の向上をめぐり て、さらに多くの方々にご利用 いただけるよう役職員一同、精一杯 努力して参ります。

一般財団法人相模原教育会館

理事長 増田 貴範



「親と子のふれあいカルチャー教室」(左)と「教育文化講演会」(右)のひとこま

●2024年度事業報告

●人権・解放教育研修会  
人権を守り、共に生きるために

2024年6月13日、「第1回人権・解放教育研修会」をハイブリッド開催しました。西村志保さん(横浜市小学校教諭)からは「多文化共生を楽しもう!」というテーマで、外国につながるのがある子を支援する活動を見学して、様々な文化に触れ、理解を深める活動報告がされました。また、渡辺辰美さん(厚木市小学校教諭)からは「人権教育のとりくみについて」というテーマで、子どもたち



西村志保さん (横浜市小学校教諭)

とともに、ピンクシャッター等のとりにくみを行った様子について報告がありました。参加者からは、「国際教育、人権教育といっても、地域ごと違うことに改めて気づきました」「教室にさまざまな国籍、言語、文化、宗教がある中で、教員がまずは知るといふこと、そして子どもたちに伝えていくということが大切なのだと強く感じました」等の感想があり、外国につながるのがある子の支援の仕方や、人権教育のあり方等に関しての理解を深めることができました。



渡辺辰美さん (厚木市小学校教諭)

2025年1月21日、「第2回人権・解放教育研修会 自立と共生をめざす教育研修会」を湘北地区教職員組合協議会女性部との共催でハイブリッド開催しました。



小野アンリさん (Proud Futures共同代表)

「LGBTQ+を知っていますか?」誰もが自分らしく生きられる社会へ」をテーマに、小野アンリさん(Proud Futures共同代表)が講演を行いました。LGBTQ+の子どもたちにとって安心な学校を作るために必要な学びを、元教職員というご自身の経験をふまえながらわかりやすく話していただきました。参加者からは、「明日、自分のクラスで性の多様性について勉強してきたことを伝えたいと思います。いつでも相談できるという安心感を大事にしたいです」「性の

あり方については、その子がその子らしく、安心して過ごせることが大切」という言葉を受けて、特定の児童だけではなく、教室の児童全員に言えることだと感じました」等、多様な性のあり方への再認識や、誰もが安心して過ごせる学校にむけた自分自身の課題などについての感想が寄せられました。

●親と子のふれあい映画会  
映画「Pippi とべないホタル」を4会場で上映

子どもたちの夏休み期間に合わせて、4会場(7月22日大和市保健福祉センター・26日津久井中央公民館・29日愛川町文化会館ホール・8月5日相模原教育会館)で親と子のふれあい映画会を開催しました。

「Pippi とべないホタル」は、生まれつき羽がちぢれて飛べないホタルのピピが、仲間とともにさまざまな困難を乗り越えながら、成長していく物語です。各会場合わせて351人の参加がありました。参加者からは「みんなと協力すればできないこともできるよ!」等、助け合い「助けてほしいな」等の声寄せられました。

●親と子のふれあいカルチャー教室  
日本の伝統 「六つ目編み」  
体験！

7月25日、「親と子のふれあいカルチャー教室」が開催され、13人の参加がありました。相模原市退職教職員の会から講師を招き、「古来日本で親しまれてきた伝統技術『六つ目編み』でコースターを作ろう」と題し、体験教室を行いました。紙バンドを使ったコースターや小物入れ作りをお楽しみながら学びました。参加者からは「編み目がきれいに出了のがうれしかった」「最近では市販の物を買ってしまう小物入れも、手作りすることでいつもより愛着が



コースターや小物入れ作りを体験

わいて素敵な経験になりました」「自分で作れるなんて思わなかったので、とても興味深く、楽しく作らせてもらいました。他にも作ってみたいですよ」等の声があり、有意義な時間となりました。

●教育文化講演会  
全ての子どもたちの笑顔のために：

2月12日、(一財)相模原教育会館事業「教育文化講演会」がハイブリッド開催され、155人の参加がありました。星山麻木さん(明星大学教育学部教育学科教授)を講師に招き、発達多様性や、子どもへのサポート体制のあり方、自分理解などについてご講演いただきました。

はじめに、星山さんから、音声チックがある子が周りの友だちに笑われているという場面を見た際、あなたはどうか。と質問が参加者に投げかけられました。様々な意見があがる中、自分事として多様性を捉える理解教育の大切さについて話がありました。次に、記号や文字を視写する際に、ものの重なり方や空間の見え方、視野の狭さ等の視知覚は人それぞれ違うため、その違いを周囲

の人から理解されにくく、「二次障害」を誘発してしまう可能性があること。正しくアセスメントをしながら「困難さ」を理解することが重要であること等の話がありました。

最後に、子どもの特性を色で表現し、「二人ひとり」がその子らしく生きていくことのために、いいところを探すことから始めましょう」と語りました。

参加者からは「その子らしさをたくさん伸ばせてあげられるような教師でありたいと思いました」「強みや良さを引き出すことが、その人らしさを育てるということを感じました」等の感想が寄せられました。



星山麻木さん(明星大学教育学部教育学科教授)

相模原教育会館の会議室を  
利用してみませんか？

(一財)相模原教育会館は、200人以上が入れる大会議室など、各種様々な部屋を貸し出しています。ぜひ、ご利用ください。

| 室名                                | 定員   | 料金         |
|-----------------------------------|------|------------|
| 小会議室(1)                           | 30名  | 1時間 700円   |
| 小会議室(2)                           | 30名  | 1時間 700円   |
| 小会議室(3)                           | 30名  | 1時間 700円   |
| 小会議室(1)(2)は合わせて1室(60名)として利用できます。  |      |            |
| 大会議室(1)                           | 120名 | 1時間 2,100円 |
| 大会議室(2)                           | 120名 | 1時間 2,100円 |
| 大会議室(1)(2)は合わせて1室(240名)として利用できます。 |      |            |
| 控室                                | 10名  | 1時間 300円   |

(※控室は単独での貸出をしていません。)

●地域に根ざす教育・文化の振興に寄与するために

2025年度一般財団法人・相模原教育会館事業計画

1. 教育文化振興事業

- ・(1) 親と子のふれあい映画会
- ・時期および場所

7月下旬～8月中旬

津久井中央公民館

愛川町文化会館

海老名文化会館

相模原教育会館

- ・内容

映画上映  
(自然や動物と人とのふれあいをテーマにした作品)

対象 一般

(2) 教育文化講演会

- ・時期

2月 予定

場所 相模原教育会館

内容 文化・教養の向上に資するもの

対象 一般

(3) 「教育会館だより」の発行

- ・時期

年1回  
内容 実施事業の報告およびPR

対象 一般

2. 教職員福利厚生事業

- ・(1) スポーツ観戦チケット斡旋
- ・時期

5月

(2025年後期日程分)

3月

(2026年前期日程分)

横浜スタジアム(プロ

野球ベースターズ戦)

ペアチケット斡旋

対象 教職員

(2) 親と子のふれあいカルチャ

1教室

時期 7月下旬

場所 相模原教育会館

内容 教育・文化の振興に関するもの

対象 教職員とその家族、小・中学生

(3) 歴史・文化散歩

時期 9月中旬

場所 未定

内容 歴史や文化、由緒ある場所などの見学

対象 退職教職員

(4) 湘北教職員体育大会

時期 10月上旬～中旬 予定

場所 湘北地区内会場

対象 教職員

- ・(5) 人権・解放教育研修会
- ・時期

6月中旬 予定

・場所 相模原教育会館

・内容 人権課題に対する意識理解を深めるための研修会

・対象 教職員

(6) 学習交流会

時期 10月下旬 予定

場所 相模原教育会館

内容 学校現場の教育課題についての話し合い

対象 教職員、退職教職員

(7) 教育・教養研修会

時期 2026年1月 予定

場所 相模原教育会館

内容 教育課題に関する研修会

対象 教職員

(8) 物資斡旋

時期 随時

場所 各学校・各教職員より申し込み

内容 物資販売の斡旋案内

対象 教職員

3. 教育会館運営及び生命共済事業等

(1) 会議室の貸室

時期 通年

内容 教育会館内会議室の貸出案内・調整、施設・備品整備等

対象 各構成団体、一般

- ・(2) 湘北教職員生命共済

・時期 7月下旬～9月中旬

(説明会・加入手続き)

2月

(保障制度開始)

・内容 2025年度(第40期)更新推進事業、新規・継続加入説明・通知等

・対象 教職員

4. その他

(1) 教育会館ホームページ

時期 通年

内容 教育会館の紹介(設立趣旨、会議室貸出案内等)



URL <http://www.sagamiharakyouikaikan.or.jp>